

## 原料費調整制度に基づく2024年6月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2024年6月検針分の単位料金を調整した結果、2024年5月検針分と比べ、1m<sup>3</sup>(45MJ)につき6.16円(消費税込)上方に調整いたします。

これにより、1カ月に30m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で2024年5月検針分と比較して、185円(消費税込)ガス料金が上がります。

なお、2024年6月検針分は、経済産業省の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」にて支援される補助金<sup>\*1</sup>により、7.5円/m<sup>3</sup>の値引きを行っております。

補助金適用前との比較では、225円(消費税込)ガス料金が引き下げられています。

2024年6月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

\*1 2024年5月検針分までは15円/m<sup>3</sup>の値引き単価、2024年6月検針分は7.5円/m<sup>3</sup>の値引き単価となります。詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>)をご覧ください。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA~Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1ヵ月のご使用量	料金表A 0~20m <sup>3</sup>	料金表B 21~80m <sup>3</sup>	料金表C 81~200m <sup>3</sup>	料金表D 201~500m <sup>3</sup>	料金表E 501~800m <sup>3</sup>	料金表F 801m <sup>3</sup> ~
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> ) (参考)	174.87	160.02	157.82	154.52	145.72	138.02
補助金適用前 調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> ) (参考)	182.37	167.52	165.32	162.02	153.22	145.52
5月 調整単位料金	168.71	153.86	151.66	148.36	139.56	131.86

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 30m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2024年5月 <sup>*2</sup>	2024年6月 <sup>*3</sup>	増減
適用料金(円/月)	5,671	5,856	185

【参考】補助金適用前	
2024年6月 適用料金	補助金適用 前後の差
6,081	225

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度~2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

\*2 補助金適用により、15円/m<sup>3</sup>値引きされています。

\*3 補助金適用により、7.5円/m<sup>3</sup>値引きされています。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2023年12月～2024年2月 の平均 (5月検針分)	2024年1月～2024年3月 の平均 (6月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	100,440	98,910	▲ 1,530
LNG	100,710	99,090	▲ 1,620
LPG	91,130	91,240	110
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	43,100	41,600	▲ 1,500

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && \boxed{99,090} \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && \boxed{91,240} \times 0.0546 \end{aligned}$$

**98,909.11**

↓(10円未満四捨五入)

**98,910** 円/t

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$\boxed{98,910} \text{ 円/t} - \boxed{57,250} \text{ 円/t} = \boxed{41,660} \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

**41,600** 円/t

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{41,600} \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.0891^{*4}$$

(補助金適用前)

$$= \boxed{37.06} \text{ 円}^{*5}$$

\*4 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

\*5 調整額がプラスの時は小数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は小数点第3位以下を切り上げます。

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{37.06} \text{ 円} - 7.5 \text{ 円} = \boxed{29.56} \text{ 円}$$

(補助金適用後)

### 5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,056.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(130.46円)} + \boxed{29.56} \text{ 円} \times 30\text{m}^3 \\ &\text{料金改定時の基準単位料金(税込)↑} \quad \text{↑単位料金調整額(税込)} \\ &= \boxed{5,856} \text{ 円} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

#### [参考]

##### 原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。